



薬剤師が伝える豆知識

お薬の種類とセルフメディケーションについて

**お医者さんが診断して処方するお薬は、
あなたの為だけのお薬！医療用医薬品といいます！**

病院に行ってもらった薬のことです。医師が診断のうえ、患者さん1人ひとりの病気やケガの程度などを判断して、処方箋を発行し、薬剤師が調剤した薬です。

ご自分が使って調子がいいからといって他の人に勧めることは絶対にしないでくださいね。



薬局や売店などで購入できるお薬！

一般用医薬品（大衆薬・家庭薬）といいます！

別名OTC（オーバーザカウンター）薬とも呼ばれ、効き目が穏やかで副作用が少ないお薬です。

OTC薬の中には、スイッチOTC医薬品という薬もあります。元々は医療用として使用されていたものです。お薬の有効性や安全性に問題がないと判断された為、一般用医薬品に転換（スイッチ）されました。従来の一般用医薬品に比べて、シャープな効き目が期待できます。

これまで、処方箋が必要だった馴染み深いお薬も店頭で購入できるようになっています。

セルフメディケーションをしてみませんか？

セルフメディケーションとは、自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすることをいいます。

軽度な身体の不調を手当てするためには、一般用医薬品を使用してみるのも良いでしょう。症状や薬のことは、市販品であっても、薬局・薬店などの薬剤師に気軽に相談してください。一般用医薬品を使っても症状がよくなる場合、逆に悪くなった場合は、できるだけ早く医師や薬剤師に相談するようにしましょう。

お薬を処方されている方は、お薬手帳を薬剤師に見せて、相談されるとよいですよ！

